

第4次和歌山県環境基本計画（H28年度～H32年度）

～持続可能な社会「将来にわたり住みよい和歌山」を目指して～

- ◆環境分野の最上位計画（分野別計画である「県地球温暖化対策実行計画」を内部に包含）
- ◆「安全・安心の確保」を基本に、「低炭素社会の構築」「循環型社会の構築」「自然共生社会の構築」への取組を一体的に推進
- ◆県民、事業者、民間団体、行政機関の役割を「低炭素社会」「自然共生社会」「循環型社会」の3分野ごとに記述
- ◆計画の進行管理…毎年、環境白書で取組状況を公表

低炭素社会の構築

地球温暖化対策実行計画

- ◆県の温室効果ガスの削減目標（2013（H25）年度比）
2020（H32）年度に▲9%の水準、2030（H42）年度に▲20%の水準
- ◆全体目標達成のための「産業」、「運輸」、「民生家庭」、「民生業務」の各部門ごとに削減目安を記載
- ◆事業者としての県の削減目標（2013（H25）年度比）
2020（H32）年度に6%以上の削減、2030（H42）年に14%以上の削減

自然共生社会の構築

生物多様性和歌山戦略（H28年度～H32年度・新規）

- ◆3つのレベル（「生態系」「種」「遺伝子」）、4つの生態系サービス（「供給」「調整」「文化的」「基盤」）、4つの危機（「開発・乱獲」「縮小・撤退」「外来種・化学物質」「地球環境」）に整理
- ◆紀の川、有田川、日高川、富田川・日置川、古座川、熊野川の流域を基本とした区域ごとの森林、里地、河川・湖沼、里海の現況を分析し、森里川海の連環を目指した具体的取組を記載
- ◆7つの基本戦略
①多様性に貴重な天然林の保護・保全 ②人工林の適切な管理の推進 ③保全と活用のバランスに配慮した里地・里山の保全 ④外来生物の持ち込み防止対策 ⑤野生鳥獣の適正管理 ⑥生物多様性への意識の醸成 ⑦多様な主体の連携

循環型社会の構築

第4次廃棄物処理計画（H28年度～H32年度・H28年度策定予定）